株式会社ダイキアクシス

2026年12月期
第3四半期 連結決算概要

PROTECT × CHANGE

2026年11月13日

1 | 2026年3Q 連結決算概要

	2025年3Q	2026年3Q		2026年通期		
	実績	実績	前期比	修正前予想	修正後予想	修正前比
売上高	348.5億円	376.2億円	+7.9%	500.0億円	500.0億円	0.0%
営業利益	7.2億円	14.3億円	+96.2%	14.5億円	16.0億円	+10.3%
経常利益	7.3億円	13.6億円	+86.0%	13.5億円	15.0億円	+11.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1.1億円	7.0億円	+509.7%	5.4億円	8.0億円	+48.2%

2026年3Qの状況

- 売上高：住宅機器の大型工事案件進捗により増収。環境機器の地下水飲料化や海外事業、再エネも増収要因
- 営業利益：環境機器の各事業や再エネ、住宅機器の空調工事や木構造が大幅増益に寄与

- 中東情勢の影響等：原材料や商品仕入価格の上昇、一部原材料や商品仕入の遅延等が発生も、適宜、販売価格への転嫁や各種コスト低減に努めた
- 通期業績予想：中東情勢の影響への対応含め、業績が底堅く推移していることから上方修正

※詳細は本日2026年11月13日公表の「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください

2 | 2026年3Q セグ別決算概要(環境機器)

環境機器関連事業	2025年3Q	2026年3Q		2026年通期		
	実績	実績	前期比	修正前予想	修正後予想	修正前比
売上高	179.2億円	187.4億円	+4.6%	255.0億円	255.0億円	0.0%
セグメント利益(営業利益)	12.4億円	15.5億円	+25.1%	21.8億円	21.0億円	△4.7%
参考：経常利益	12.6億円	15.6億円	+23.7%			

2026年3Qの状況

- 国内：産業排水処理装置や浄化槽の販売・施工は前年同期の大型案件剥落により減収も、メンテ収益の増加により減収増益に
- 海外：インドで浄化槽出荷台数が増加し増収、各種コスト低減により営業損失額は改善
- 地下水飲料化：プラント販売が堅調に推移し、増収増益に。修繕も含めたメンテ売上高も堅調に推移
- 建物総合管理：ホームセンター店舗案件の新規受注に注力したことで売上高増加

参考情報

- 海外の状況【グループ決算への取込みは3ヶ月遅れであり、2026年3Qの海外数値は2025年10月～2026年6月分】
  - インド：代理店販売に加え、商社やゼネコンとの取引も強化。工場での材料費削減や工数低減により生産安定化に寄与
  - インドネシア：浄化槽に加え工場系排水処理の受注にも注力。水質規制に対応した製品や高スペックな浄化槽の販売を進める
  - スリランカ：環境規制厳格化により市場拡大が見込まれる。現地政府等と国家規格導入に向け協議を開始
- 中東情勢の影響等：現時点において影響は限定的。当期は一部原材料の調達が不安定化。製品原材料や工事資材等の価格上昇は続いているが、適宜、製品販売価格や工事受注価格等への反映を進めている。

3 | 2026年3Q セグ別決算概要(住宅機器)

住宅機器関連事業	2025年3Q	2026年3Q		2026年通期		
	実績	実績	前期比	修正前予想	修正後予想	修正前比
売上高	146.1億円	161.4億円	+10.5%	210.0億円	210.0億円	0.0%
セグメント利益(営業利益)	4.8億円	6.7億円	+38.9%	6.8億円	7.0億円	+2.9%
参考：経常利益	5.4億円	7.4億円	+35.5%			

2026年3Qの状況

- 住設販売・流通：建設関連業者向け販売は、エンドユーザーの購買意欲低下等により減収に
  ホームセンター向け販売はDCMグループの店舗数拡大に合わせ、納品先の拡大に注力したことで増収に
- 建築・設備工事：冷凍冷蔵・空調設備工事、体育館の輻射熱冷暖房工事や木構造事業といった環境配慮型商材、教育施設関連など、各分野で堅調に受注・施工が進み増収に
- セグ利益：建築・設備工事業において複数の大型工事案件が完成・進捗したことで増益に

参考情報

- 中東情勢の影響等：現時点において影響は限定的。当期は一部商品や資材の仕入メーカーで受注停止や出荷制限が発生した。
  商品仕入価格や工事資材等の価格上昇は続いているが、適宜、商品販売価格や工事受注価格等への反映を進めている。

4 | 2026年3Q セグ別決算概要(再エネ)

再生可能エネルギー関連事業	2025年3Q	2026年3Q		2026年通期		
	実績	実績	前期比	修正前予想	修正後予想	修正前比
売上高	18.8億円	24.9億円	+32.1%	31.6億円	31.6億円	0.0%
セグメント利益(営業利益)	1.6億円	4.1億円	+157.3%	3.0億円	3.8億円	+26.7%
参考：経常利益	1.3億円	3.5億円	+168.1%			

2026年3Qの状況

- 太陽光発電：FIT及びPPAの発電量は堅調に推移。グリーンデータセンター2サイトが2026年3月より稼働し増収増益に貢献
- 風力発電：FITによる売電売上高は堅調に増加。稼働実績を勘案し、一部サイトの稼働を停止
- バイオディーゼル燃料：西日本・東日本・日光、各エリアでの燃料販売増加により増収
- 水熱処理：水熱処理装置の実機販売を受注・納入が完了したことで大幅な増収増益に

参考情報

- グリーンデータセンター：再生可能エネルギーである太陽光発電を主な電力源としたデータセンター
  2026年6月30日「三社共同で再エネを活用した次世代グリーンデータセンター事業を始動」
- 太陽光PPA：DCM3店舗で店舗屋根を活用したPPAによる電力供給を開始
  2026年9月18日「ＤＣＭとダイキアクシス、太陽光発電の取り組みをPPAモデルへ拡大」

5 | 2026年3Q セグ別決算概要(その他)

その他(家庭用飲料水事業・ベンチャーキャピタル事業)	2025年3Q	2026年3Q		2026年通期		
	実績	実績	前期比	修正前予想	修正後予想	修正前比
売上高	4.3億円	2.3億円	△46.5%	3.4億円	3.4億円	0.0%
セグメント損失(△)(営業損失)	△0.1億円	△0.5億円	ー	△0.4億円	△1.0億円	ー
参考：経常利益	△0.5億円	△0.5億円	ー			

2026年3Qの状況

- 家庭用飲料水事業：
  - アクシスウォーターの拡販に注力・経営資源を集中させることを目的として、2026年1月5日付で、ボトル型ウォーターサーバー事業を新設分割会社である株式会社クリクラ愛媛に承継させ、同新設会社の全株式を株式会社ナックへ譲渡
  - ボトル型及び他社製全自動型ウォーターサーバーから「アクシスウォーター」への移行、新規契約者の獲得を進めたことで契約数は増加

参考情報

- 家庭用飲料水事業：アクシスウォーターはサブスクモデル(ストックビジネス・定期定額)のため、ボトル型に比べ顧客売上単価は減少も、今後の契約数増や継続的な改善・サービス提供により、収益のさらなる積み上げを企図
- ベンチャーキャピタル事業：2号ファンド(DAVPベンチャーTF for SUSTECH投資事業有限責任組合)を2025年1月に組成
  1号ファンド(DAVPベンチャー1号投資事業有限責任組合)と合わせて計12社への投資を実施中

6 | 2026年12月期 配当予想修正

	2024年	2025年	2026年		
	実績	実績	修正前予想	修正後予想	前期比
親会社株主に帰属する当期純利益	3.5億円	4.6億円	5.4億円	8.0億円	+3.4億円
1株当たり当期純利益(EPS)	26円48銭	34円81銭	40円70銭	60円25銭	+25円44銭
1株当たり年間配当金	24円00銭	24円00銭	24円00銭	26円00銭	+2円00銭
連結配当性向	90.6%	68.9%	59.0%	43.2%	△25.7pt
自己資本利益率(ROE)	3.7%	4.8%	5.5%	8.0%	+3.2pt
自己資本配当率(DOE)	3.4%	3.3%	3.2%	3.5%	+0.2pt

配当予想の修正

- 通期業績予想の上方修正を踏まえ、期末配当予想を2円増配の14円(中間配当12円・年間26円)に修正
- 利益成長に伴い連結配当性向は43.2%となる一方、ROEは8.0%、DOEは3.5%への増加を見込んでおり、資本効率・将来への成長投資・安定的な株主還元のバランスを意識した経営を着実に進める

※詳細は本日2026年11月13日公表の「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください